

会 議 等 結 果 報 告 書

会議区分	<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">会 議</div> ・ 打合せ ・ 協 議	文書番号	2518
		決裁期日	令和5年1月30日
名 称	令和4年度第1回安平町総合教育会議		
日 時	令和5年1月24日 午前・ 午後 2時00分～3時30分		
場 所	安平町総合庁舎 大会議室		
出席者	町 長 : 及川 秀一郎 教育委員 : 種田 直章 (教育長) ほか委員4名 事務担当 : 渡邊 匡人 (政策推進課長)、山口 崇 (同参事)、高橋 克年 (同主幹) 永桶 憲義 (教委事務局次長)、佐々木英生 (同参事)、前田 繁 (同課長補佐)、 武田 一倫 (同課長補佐)、秋田 一篤 (同課長補佐)		
会議概要	<p>1 開会 (進行 渡邊政策推進課長) (略)</p> <p>2 町長挨拶 (及川町長)</p> <p>以下、情報提供を含めた挨拶内容</p> <ul style="list-style-type: none"> *全国で最強寒波。安平山スキー場も今日からオープン。 *せいこドームがJOC強化施設の指定を正式に受けた。年末にもせいこドームを利用いただいた大学のアイスホッケー関係者と挨拶をさせていただいた。町民センターの大規模改修で合宿所機能も持たせていく検討していますので、より多くの方々にご利用いただけるようになるのではと期待している。 *教育委員をはじめとした皆さんのご努力によって、早来小・中学校がスタートさせることができた。安平小・遠浅小の皆さんは4月から。早来学園として新たなスタート、そして歴史を積んでいくこととなります。 *総合計画中期基本計画の4年間、子育て・教育を柱の一つに進めてきたが、令和4年の1年間において20年ぶりに転入が転出を上回る社会人口増に転ずることができた。プラス18名と少ないように感じるかもしれないが、前年は-108人なので、やはり大きなことだと言える。これからも政策に優先順位をつけながらできる限り続けていけるようにしていきたい。 *後期基本計画の策定作業も行っており、先日、議会全員協議会でもご説明したところ。今後、パブリックコメントや未来創生委員会等を経ながら、3月に議決いただく流れとなっている。追分小学校が老朽化してきているということで、早来学園はいいなという声も出ていますと聞いていますが、追分中学校は平成24年にできたまだ新しい学校ですので、それと一体型の義務教育学校ができればいいんじゃないかと思っていまして、若い世代の移住等の効果も含めて、そういった議論のスタートを、総合計画等の議論を通じて行っていきたい。 *話は変わるが、ゼロカーボンやカーボンニュートラルという政策を国は進めているところだが、安平町においてもマイクログリッド方式という小規模な地域単位で太陽光発電とバイオマス発電の組み合わせでエネルギーを地産地消するイメージ。こうしたものを計画にまとめているところ。例えばバイオマス発電で発生した熱をプールに応用して、現在冬の3か月はプールが使えないが、こうしたことを実現することで通年化を図ったり、プールの統廃合の検討を含め、そうした可能性に繋がっていくんだろうと考えている。 *また、まだ町からはSNS等では公表できないが、前澤氏の5億円寄付の呼びかけに、私もTwitterでエントリーさせていただき、再生エネルギー推進を目的に1,500万円を寄付いただけることになった。以前は早来中学校の再建に500万円寄付をいただいた。 		

今回は347か所が手を挙げて金額で割り返すと33か所くらいに絞られたものと思われる。有名な方を選んでいただいたということで、プロジェクトとして計画を動かしていく段階では様々な注目を浴びるのではと思っている。

*台湾の安平区との協定締結を今後進めていく予定。これまでの小学校交流に加え、観光振興や鉄道交流などにも発展させていければと期待している。

3 協議・調整事項

(渡邊課長)

総合教育会議につきましては、議案の2ページ目にあるとおり、安平町総合教育会議設置規定第4条第3項の規定により、町長が議長として進行いたします。

(町長)

それでは、議事進行させていただきます。議案1ページの3の協議調整事項「(1) 令和5年度の主な教育予算について」説明願います。

——(1) 令和5年度の主な教育予算について——

(渡邊課長) 【令和5年度予算編成方針の概要説明】

- ・まず、私の方から、令和5年度の予算編成にあたって、職員に周知しました基本的な方針について若干説明したい。
- ・安平町における今後の財政の見通しとしては、人口減少や少子高齢化の影響による町税の減少、普通交付税では、安平・遠浅小学校の閉校、地域デジタル社会推進費の算定が終了となり減少する見込みのほか、早来小中学校建設事業などの復興関連事業の実施に伴う地方債の償還など、厳しい状況が続くことが想定されています。新型コロナウイルス感染症対策や物価高騰への対応など、先行きが予測しにくい状況にあることも念頭に、財政構造の弾力性の維持や財政運営の健全化を図っていく必要があります。
- ・そういった状況にはあるが、早来小中学校建設事業が終了するなど、復興関連事業は着実に進捗しており、残る大きな復興関連事業としては、「早来公民館（町民センター）改修整備（防災支援施設改修整備事業）」と「防災倉庫整備事業」となっている。
- ・令和5年度の予算編成については、現在、作業を進めている第2次安平町総合計画後期基本計画との整合を図り、それ以外の通常事業については、コロナ禍においても、引き続き住民サービスや地域経済を支える取り組みを行いながら、前例にとらわれることなく、時代のニーズを的確に捉え、各政策・事業、事務事業の廃止、見直しを行い、限られた財源を最大限有効に活用することで、財政計画に基づく持続可能な財政運営を確保しつつ、総合計画や総合戦略に基づく諸施策を積極的に推進するよう職員に指示をしているところ。
- ・続いて、教育委員会から主な教育予算について説明したい。

(永桶次長・佐々木参事) 【令和5年度の主な教育予算の概要説明】…資料1

- ・資料1に基づき、学校教育グループ所管事業は永桶次長から、社会教育グループ所管事業は佐々木参事から説明
- ・【資料訂正】 追分公民館整備事業（誤）事業費 6,961 千円→正）72,588 千円

【質 疑】

(町長)

ただいま教育委員会事務局から説明がありましたが、これまでの教育委員会議の中でも情報共有されているものも多いと思いますが、改めて皆さま方から何かご質問ご意見あ

会議概要

りましたらお願いしたい。

(委員)

教育・保育施設整備事業の内容として、セキュリティシステム導入とあるが、どのようなものが導入されるのか。

(永桶次長)

おいわけ子ども園の玄関の顔認証のシステムに加え、園庭の入口に、現在のところでは暗証番号式のセキュリティロックシステムを入れる予定。

(委員)

安平山スキー場整備事業のところですが、古い方のヒュッテを改修して新たな活用をするなど考えてはいないか。

(佐々木参事)

若干の雨漏りや落雪位置の関係で注意が必要な場所があるが、現在のところ大掛かりに手を加える予定はない。従来どおり、学校のスキー授業の際などに使用していく。

(町長)

安平山スキー場にリフトができて35年が経過している。今年もようやく今日からオープンになることになったが、長くてもシーズンは3月15日までで、最長でも2か月使えない状況。まだ今後検討していくという段階ですが、リフトを見直すときに遠軽町のようにジップラインだとか夏利用ができる形を、パークゴルフ場やキャンプ場とも連携するイメージで検討したいと考えている。その一連でヒュッテの今後も検討していきたい。

(委員)

教員の働き方改革推進事業の説明のなかで、教員の方々にiPhoneを導入するということだが、具体的にどのような効果が期待されているのか。

(永桶次長)

こちらの事業については、まだ3か月しか運用していないので、現時点では明確な効果と言えるものは少ないが、早来学園での活用実践をみて、追分にも拡大していくというのが基本的な考え方である。学校内の連絡調整や教える内容をデータで映し出したりするときの端末として利用したりと、いきなりは広がらないので、少しずつ活用の幅を広げている状況。実践が積み重なることで、その効果も高まっていくと期待している。

(町長)

動画のほう子どもたちにとって教育効果が高まったり、それをクラウド上で共有や管理することもでき、昔のように単なる携帯電話ではなく、小さなパソコンを持ち歩いて、繋げば大きなスクリーンに映し出せたりと。こうしたことが、ペーパーレス化にもなり、来年度は地域プロジェクトマネージャーも入ってくるので、活用の仕方も工夫しながら推進できるものと考えている。

(委員)

児童福祉複合施設外構改修工事についてだが、説明の中で園の前の道路が道路ではなくなって、歩道部分の段差解消などを行い駐車場にするというようなことだったが、歩道を改修するという事なのか。

(永桶次長)

まず事業を行う場所だが、道道側ではなく、みなくるとはやきた子ども園の間の町道の

部分で、町道の一部を廃止し、その歩道部分を平らにして段差を解消するという内容を予定している。ただ、庁舎場を全てアスファルト化するとこの予算の数倍かかるので、まずは段差解消と砂利整備を行う内容としている。

(町長)

いま駐車場の話が出たので関連の話になるが、中学校の仮設校舎を解体した後の土地ですが、そのまま早来学園の駐車場にすることも考えていたが、いま早来地区が家を建てたい、アパートを建てたいと言っても、土地がほとんどない状況で、早来学園近辺の町有地で下水道などのインフラも整備されている土地は貴重なものですから、今のところの考えにはなるが、宅地分譲や民間の活力を導入した住居整備も検討している。早来学園の駐車場については、多くの台数の駐車場が必要なときは運動会など回数が限られているので、はだしの広場の横の仮設住宅が建っていたところですか、あるいは既存の町民センター駐車場なども候補に入れて考えていきたい。宅地造成をする際にインフラが入っていないと道路や水で7,000万円は少なくともかかる。公営住宅の見直し等も同時並行的に考えながら投資効果などを勘案して進めていきたい。本日は総合教育会議なので、子ども園の駐車場の話から少し膨らみましたが、情報提供させていただいた。

(委員)

スクールバス更新事業について、4月から4台で足りるのか。車両のトラブルの報告も過去には聞いていて、故障時等の対応も含め早来学園の本格スタートに際して綱渡りのような運行計画にはなっていないのか。

(永桶次長)

4台で足りる計算をしている。故障があった場合には行事利用の町バスを臨時的に使用させていただくなどの対応で協議している。なお、これまでも、場合によってはレンタバスを借りる想定をしているが、実際にレンタルしなければならない状況には至っていない。

(町長)

それでは、質問等も一段落しましたので、残りの資料に沿って、私から紹介をさせていただきますと思う。

———(3) その他意見交換———

町長より、「令和4年度町政執行方針」「及川町長2期目のまちづくり(リーフレット)」の資料を用いて情報提供を行った。

また教育長より、新型コロナの影響で2年ぶりの実施となった追分高校生徒募集活動の実施状況等について説明した。

(町長)

それでは予定の時間になりました。総合教育会議ということで、私からも幅広く情報提供させていただきましたが、今後ともよろしくようお願い申し上げます、本日は終了させていただきます。ありがとうございました。

(終了 午後3:30)